

クロホオヒゲコウモリ

コウモリ目ヒナコウモリ科

Myotis pruinus Yoshiyuki

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類

選定理由

ブナ林帯より下部の森林帯や照葉樹林帯の林に生息していたと想像されているが、現在ではその林の分布が分断され、わずかな個体群が点々と残存しているだけと考えられる。

国内分布

本州、四国、九州から知られている。

県内分布

県内では、白山市白峰地区の市ノ瀬と六万山周辺と同市中宮の2箇所が生息が確認されている。

生態

森林内で飛翔している中型・小型の昆虫（ガやガガンボ等）を餌としている。他の森林棲のコウモリと同様の生態をしているものと考えられるが、詳しくは不明である。6月頃に出産を行い、10月頃に子供は独立するようである。

生息地の条件

本州では、ブナ林帯より下部の森林帯や照葉樹林帯に分布する林に広く生息していた。

生存の危機

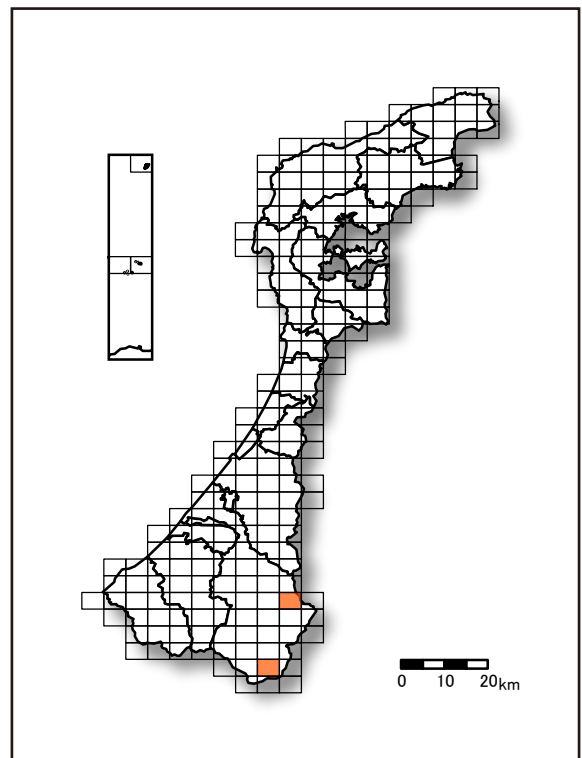
低山の照葉樹林等はほとんどが残されていないため、生息地が分断され、わずかな個体群が点々と残存しているのみと予想され、きわめて危機的な状況といえる。(A)

特記事項

生息の確認された2地点ともに当歳獣が確認されており、白山市白峰地区の市ノ瀬の六万山周辺及び同市中宮の森林は、クロホオヒゲコウモリの繁殖地として特に重要であり、両地区周辺の森林の保全が望まれる。

参考文献

- 山本輝正 1990. 石川県のコウモリ. 石川の生物, 石川の生物編集会(編), 137-142. 石川県高等学校研究会生物部会.
山本輝正 1994. 白山石川県側のコウモリ1. 岐阜ふるさとと動物通信, 60, p967.
山本輝正 1995. 白山石川県側のコウモリ2. 岐阜ふるさとと動物通信, 62, p996.
山本輝正・野崎英吉 2002. 白山地域におけるコウモリ目相. 石川県白山自然保護センター研究報告. 29: 73-76.
山本輝正・上馬康生・野崎英吉 2005. 石川県白山地域のコウモリ相調査-1998年~2005年の調査結果より-. 石川県白山自然保護センター研究報告. 32: 25-30.



県内の分布